

苫小牧工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	英語 V C	
科目基礎情報							
科目番号	0152			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 4		
開設学科	創造工学科 (一般科目)			対象学年	5		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	教科書: "Best Practice for the TOEIC L&R Test (Intermediate)" (成美堂) , "TOEIC-IP" (国際ビジネスコミュニケーション協会) / 参考図書: 市販のTOEIC受験対策用の問題集, "TOEIC L&R TEST出る単特急金のフレーズ" (朝日新聞出版)						
担当教員	山下 徹						
到達目標							
1. 一般的な英文の内容を日本語で説明できる。 2. 標準的な単語や文法を理解できる。 3. 一般的な英文の読解や聞き取りができる。 4. 継続的な学習によってTOEICテスト・スコア400点取得が可能となる力を確認できる。 5. 英語の音声と記述による国内事情・海外事情の概要を深く理解できる。 6. 自分の専門、研究について簡潔に英語で発表できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	一般的な英文の内容を日本語で説明できる。		基本的な英文の内容を日本語で説明できる。		基本的な英文の内容を日本語で説明できない。		
評価項目2	標準的な単語や文法を理解できる。		基本的な単語や文法を理解できる。		基本的な単語や文法を理解できない。		
評価項目3	一般的な平易な英文の読解や聞き取りができる。		基本的な英文の読解や聞き取りができる。		基本的な英文の読解や聞き取りができない。		
評価項目4	継続的な学習によってTOEICテスト・スコア400点取得が可能となる力を確認できる。		継続的な学習によってTOEICテスト・スコア400点取得を目指すことができる力を確認できる。		継続的な学習によってTOEICテスト・スコア400点取得を目指すことができない。		
評価項目5	英語の音声と記述による国内事情・海外事情の概要を深く理解できる。		英語の音声と記述による国内事情・海外事情の概要を理解できる。		英語の音声と記述による国内事情・海外事情の概要を理解できない。		
評価項目6	自分の分野の研究について簡潔にわかりやすくパワーポイントなどを用いプレゼンできる。		自分の分野の研究についてパワーポイントなどを用い基本的な英語を使いプレゼンできる。		自分の分野の研究について基本的な英語を使いプレゼンできない。		
学科の到達目標項目との関係							
Ⅰ 人間性 Ⅱ 実践性 Ⅲ 国際性							
教育方法等							
概要	4年次までに学んだ英語の基礎力を踏まえて、英語VCでは、語彙力、文法力、リスニング・スキル、リーディング・スキルを総合的に定着・向上させ、TOEICテスト・スコア400点以上を達成させる学力習得を目指します。そのためには、TOEICテストの各パートの出題形式を理解し、問題に取り組むためのテクニックを習得する必要があります。また自分の研究について英語で発表するための工学英語を取り入れたスピーキング力を習得します。						
授業の進め方・方法	TOEIC対策演習を中心に1年間の授業を進めます。授業ではTOEIC問題を解き進めることで、英語によるビジネスシーンや日常生活の場面に対応できる実用的英語力を身につけられるようにします。予習復習なども担当教員の指示に従って必ず行って下さい。また、1月に全員受験するTOEIC-IPテストでは、本科修了時の到達目標である400点以上のスコア獲得を目指します。自分の分野、研究に関するプレゼンに関しては研究の概要について指導教員と話し合い、発表用の図、データの準備などをする必要があります。この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習としてTOEICリスニングセクションの音声ファイルを各自でダウンロード (無料) して、勉強して下さい。授業は皆がすでに音声ファイルを聞いて理解しているものとして進みます。 成績は達成度試験・学期末試験 (55%)、プレゼン (25%)、平素の学習状況 (TOEIC-IP・小テストなどを含む: 20%)						
注意点	1) 自学自習・・・外国語習得には既習事項の反復学習が不可欠です。次の手順で復習して下さい。 Part 1-4では自習用音声ファイルを何度も聞き返し、Part 5, 6では文法事項および語彙を再確認し、そしてPart 7では長文の内容を再吟味して下さい。 2) 語彙力増強・・・教科書には、TOEIC400点以上獲得のための必須語が数多く含まれているので、復習時に単語や熟語を文章中で覚えるよう努めて下さい。 3) 学修単位・・・この科目は学修単位であるため、1単位あたり30時間の自学自習を行わなければなりません。本講義時間が週2時間しかないことから、学力向上のためには日常の努力が必要です。授業以外に一定量の自学自習 (家庭学習) が義務付けられていますので怠らないこと。 4) 英語でのプレゼンに関してはパワーポイントなどを使い「分かり易く」伝えることに気を配って下さい。 ※TOEICリスニングセクションの音声ファイルを各自でダウンロード (無料) して、自学自習に活用すること。 再評価には再試験、再評価試験、課題などを用いる。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス・Unit 1. Restaurant		TOEICの出題形式・傾向を理解できる。レストランや食事、料理に関連する英語を理解できる。		
		2週	Unit 1. Restaurant		レストランや食事、料理に関連する英語を理解できる。		
		3週	Unit 2. Entertainment		エンターテインメントに関連する英語を理解できる。		
		4週	Unit 2. Entertainment		エンターテインメントに関連する英語を理解できる。		
		5週	Unit 3. Business		ビジネスに関連する英語を理解できる。		
		6週	Unit 3. Business		ビジネスに関連する英語を理解できる。		
		7週	前期達成度試験		TOEIC-IPの出題形式・傾向を理解できる。		

後期	2ndQ	8週	Unit 4. The Office	オフィスでの会話やオフィス用品に関連する英語を理解できる。
		9週	Unit 5. Telephone	電話を通してのコミュニケーションに関連する英語を理解できる。
		10週	Unit 5. Telephone	電話を通してのコミュニケーションに関連する英語を理解できる。
		11週	Unit 6. Letters & E-mails	手紙やe-mailに関連する英語を理解できる。
		12週	Unit 7. Health	健康に関連する英語を理解できる。
		13週	Unit 7. Health	健康に関連する英語を理解できる。
		14週	Unit 8. The Bank & The Post Office	銀行や郵便局に関連する英語を理解できる。
		15週	Unit 9. New Products	新製品に関連する英語を理解できる。
		16週	前期定期試験	これまでの学習内容を理解し、運用できる。
	3rdQ	1週	Unit 9. New Products	新製品に関連する英語を理解できる。
		2週	Unit 10. Travel	旅行するときに必要な英語や旅行業界に関連する英語を理解できる。
		3週	Unit 10. Travel	旅行するときに必要な英語や旅行業界に関連する英語を理解できる。
		4週	Unit 11. Daily Life	日常生活に関連する英語を理解できる。
		5週	Unit 11. Daily Life	日常生活に関連する英語を理解できる。
		6週	Unit 12. Job Applications	雇用に関連する英語を理解できる。
		7週	後期達成度試験	TOEIC-IPの出題形式・傾向を理解できる。
		8週	Unit 13. Shopping	ショッピングに関連する英語を理解できる。
	4thQ	9週	Unit 13. Shopping	ショッピングに関連する英語を理解できる。
		10週	Unit 14. Education	教育に関連する英語を理解できる。
		11週	プレゼンについて（１）	自分の分野の研究についてパワーポイントなどを使い簡単な英語を使い発表できる。
		12週	プレゼンについて（２）	自分の分野の研究についてパワーポイントなどを使い簡単な英語を使い発表できる。
		13週	プレゼンについて（３）	自分の分野の研究についてパワーポイントなどを使い簡単な英語を使い発表できる。
		14週	プレゼンについて（４）	自分の分野の研究についてパワーポイントなどを使い簡単な英語を使い発表できる。
		15週	プレゼンについて（５）	自分の分野の研究についてパワーポイントなどを使い簡単な英語を使い発表できる。
		16週	後期定期試験	これまでの学習内容を理解し、運用できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	定期試験	達成度試験	TOEIC-IP	発表	小テスト	合計
総合評価割合	30	30	15	15	10	100
基礎的能力	30	30	15	15	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0